

no. 10
2024.11

静岡市議会便り

令和6年11月1日発行

【発行人】
自由民主党
静岡市議会議員団
【発行元住所】
静岡市葵区追手町5-1

津波リスクの 避難所対策

Q1 静岡市の津波浸水想定 区域内における指定避 難所の課題は？



総括質問をする堀努市議

堀▼災害対策基本法第四十九条の七に基づき、市長は、災害の種類や地域の人口などを考慮して、政令で定められた基準に適合する施設を指定避難所として選定する義務があります。

▼施行令第二十条の六では、指定避難所が満たすべき条件として、(一)適切な規模、(二)迅速な物資受け入れ・配布、(三)

Q2 津波リスクのある指定避難所の 配置見直しを行う考えは？

堀▼過去、市は「津波以外の災害も考慮し、現時点で指定の変更は考えていない」と答弁しています。しかし、最大の脅威である南海トラフ巨大地震を考えると、地震と津波の同時発生を前提に備えるべきです。

市▼津波浸水想定区域内の指定避難所であっても、災害の種類や程度に応じて活用していくため、指定の解除を行う配置の見直しは考えていない。

災害の影響を受けにくい場所、(四)良好な交通アクセス、(五)要配慮者への対応が挙げられています。▼しかし、駒越小学校や清水小学校は津波の浸水が予想されており、これらの施設が「災害の影響を受けにくい場所」にあると言えるかどうか懸念があります。

市▼警報発表時は、該当避難所は開設できない。▼津波による施設の浸水や損傷が起ると、避難所としての機能を失い、他の場所へ避難する必要が生じる。

Q3 指定避難所の新設を含めた代替策に ついて、静岡市の考えはどのようなか？

堀▼駒越地区の指定避難所について、現状の収容能力は合計四七九人であり、人口の約6.4%しか収容できません。

▼さらに、津波で駒越小学校の体育館が使用不可となった場合、収容人数は二〇九人、人口の約2.8%にまで減少します。果たしてこれで十分と言えるのでしょうか。

▼そこで、新たな指定避難所の追加を提案します。例えば、津波浸水想定区域外にある静岡市しみず社会福祉事業団の体育館や清水看護専門学校、体育館の活用が考えられます。

▼また、隣接地区の避難所利用も事前に住民に提示し、折戸地区の清水南高等学校や不二見地区の清水第四中学校を主要な避難先として提案することで、災害時の混乱を避け、より迅速な対応が可能になるのではないのでしょうか。

市▼現状では難しい。ただし、浸水区域外で居住地区に近く、適切な施設があれば、施設管理者や自治会と協議の上で指定を検討する。▼また、避難先としては、安全な指定避難所以外に、親戚・知人宅やホテル、広域避難があることを市民に周知していく。

★難波市長への意見要望

堀▼過去の答弁の焼き直しで、市は課題に真剣に向き合っていないことが非常に残念です。▼津波浸水区域に住む住民は、常に地震と津波への不安を抱えながら生活しています。災害は予測できないため、市民の命と生活を守る備えは常に万全であるべきです。難波市長には、この課題に真摯に取り組む、住民の不安に寄り添った市政運営を強く要望します。

topix

HUGは、静岡県が開発した災害シミュレーションゲームで、避難所運営を学ぶ訓練です。避難者の年齢や性別、状況を考慮しながら、避難所の平面図に避難者カードを配置し、様々な問題に対処する方法を模擬体験します。

避難所運営ゲーム(HUG)



駒越生涯学習交流館にて

STEAM教育

topix

STEAM教育とは創造的思考や問題解決能力を育てる教育アプローチ。

S:サイエンス
T:テクノロジー
E:エンジニアリング
A:アート
M:マセマティクス の略

堀▼現代社会の急速な技術革新やAIの普及、グローバル化に伴い、従来の知識詰め込み型教育では、未来の複雑な課題に対応できる人材育成が難しくなっています。そこで注目されるのがSTEAM教育です。STEAMはSTEM(科学、技術、工学、数学)にアートを加えたもので、文部科学省はこの「A」を文化や生活、法律、政治、倫理など広い意味で捉えています。この教育は、理数系の強化だけでなく、創造力や柔軟な発想力を育むことを目指し、AIでは補えない人間ならではの力を育成する重要なアプローチです。

Q1 STEAM教育を取り入れた探究学習の事例と成果は？

クごみの問題を考える授業を実施。これにより、子どもたちは地域の魅力や課題を再認識し、家族や地域と意見を共有する場面が増えている。

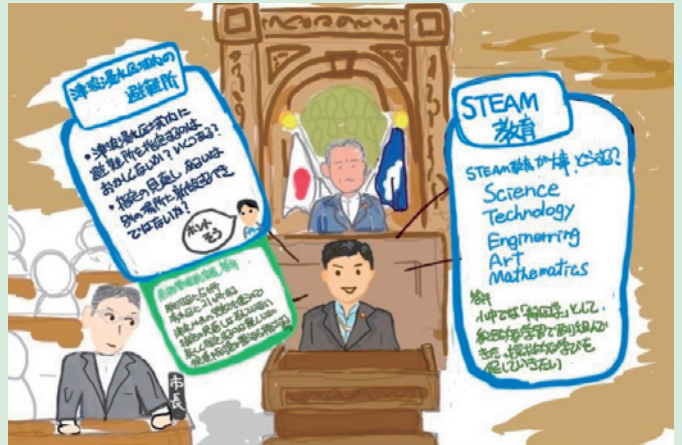
市▼本市の「しずおか学」は、総合的な学習の時間に地域の特色を活かした探究的な学習を行うプログラム。お茶・しずまエ・オクシズ・海洋文化・防災・歴史文化の六つの分野からテーマを選び、地域の人材や資源を使って学んでいる。例えば、防災分野では「静岡県地震防災センター」で防災技術を学び、海洋文化分野では清水小学校がJAMSTECの教材を使い、深海生物とプラスチック



JAMSTECの教材

Q2 今後どのようにSTEAM教育を推進していくか？

堀▼私は先日、清水小学校で行われたJAMSTECの「海洋STEAM教育」を見学し、児童たちが海洋プラスチック問題を真剣に学び発表する姿に感銘を受けました。この取組は本市にとって非常に意義深いものです。市▼「静岡市歴史博物館」で学区の歴史を学び、未来のまちづくりを考える学習や、「静岡科学館るくる」での科学体験を通じて、科学への関心を高める活動が行われている。また、整備中の「静岡市



Q3 STEAM教育を通じて、静岡市の児童・生徒にどのような力を期待するか？

市▼予測困難な時代では、持続可能な社会を維持・発展させるための人材育成が重要になる。本市の子どもたちには、STEAM教育を通じて課題解決の経験を積み、複雑な時代を生き抜く力を身につけてもらいたい。また、この学びを通して地域への愛着や誇りを育み、その発展に貢献する意識を高めてもらうことを期待している。今後も、STEAM教育を充実させ、地域社会に貢献する人材を育てていく。

市▼予測困難な時代では、持続可能な社会を維持・発展させるための人材育成が重要になる。本市の子どもたちには、STEAM教育を通じて課題解決の経験を積み、複雑な時代を生き抜く力を身につけてもらいたい。また、この学びを通して地域への愛着や誇りを育み、その発展に貢献する意識を高めてもらうことを期待している。今後も、STEAM教育を充実させ、地域社会に貢献する人材を育てていく。

★難波市長への意見要望

堀▼本市の地域資源を活かし、STEAM教育を通じた人材育成は、DXやGX・BXへの対応や人口減少対策に寄与するものです。全国の先進事例を参考に、具体的な施策と支援をお願い申し上げます。